

▶第36回目となる今回は、サンテクノカレッジ コンピュータコミュニケーション科 3年 佐野峻也さんが、株式会社小野石材店 代表取締役 小野元嗣氏取材しました。



学生

サンテクノカレッジ
コンピュータコミュニケーション科
3年 佐野 峻也 さん

『物心両面』で 幸せ企業!

経営者

株式会社 小野石材店
代表取締役
小野 元嗣 氏



▶ **学生** 会社概要と事業内容について教えてください。

▶ **経営者**

創業は明治5年、今年で142年続いている会社で私が8代目です。事業はお墓関係の石とテーブルや建築関係の石材など、石に関することすべての施工を請け負っています。

現在は、墓石が8割、建築関係が2割の比率となっています。約20～30年前は国内で全ての加工をしていましたが、その後、規制緩和や時代の流れもあり、現在ではほぼ完成状態の製品として約8割を中国から輸入し、石和営業本部で設置を完了させお引き渡ししています。

業務の内容は、工場内で物を作る仕事や事務所内でお墓の設計をする仕事、その他にもインターネットなどを使い、石の小物製品や仏壇などの販売、現場でのお墓の工事なども行っています。

▶ **学生** 求める人材についてお聞かせください。

▶ **経営者**

とにかく、“常に前向きで挑戦していく気持ちを持っている人”、“やる気がありポジティブな人間”を求めています。入社直後から仕事ができるとは思っていませんので、学ぶ姿勢があれば十分だと思っています。

▶ **学生** 御社の雰囲気について教えてください。

▶ **経営者**

私自身も感じていますが、非常に明るく常にみんなが何でも話しやすい職場環境であると思っています。入社後、

新しい環境の中ですぐに打ち解けられない人も多くですが、そういう雰囲気を作るべく払拭したいと思っています。企業には上司・部下の関係もありますが、社内の人だけで集まる時には、そういった垣根がないように心がけています。

▶ **学生** 8代目社長として抱負をお聞かせください。

▶ **経営者**

石材業は、温故知新ではないですが、古きを学び、その考えをしっかりと重んじ、変えてはいけない部分というのがありますので、そこは大事にしなればいけないと思っています。一方で、弊社が142年と続いている中で、ずっと同じやり方では会社は存続できないと思っていますので、常にその時代に即した形に姿を変えていこうと考えています。

また、今後は霊園に関わる仕事などにも力をいれていきたい考えもありますが、あくまでも弊社は石材店というのが基本ですので、地に足をつけて本業に力を入れつつ、新しいものにも挑戦をしていきたいと思っています。

この石材業という業界は、私の中ではまだまだ“伸び代

取材を終えて…

社長の根本を変えずに、今できることを全力で行っていくという姿勢には、大変共感する部分がありました。また、基盤を変えずに新しい時代に即した新たな形として事業を展開していくというのは素晴らしいことだと思いました。

私自身も現在学んでいることに対して全力で取り組み、頑張っていこうと思います。

がある”世界だと思えますので、お客様が更に満足してくださるよう内面のソフトなところをもっと磨いていければと考えています。

▶ **学生** 将来展望について教えてください。

▶ **経営者**

今のところ、なにか新しい取り組みををするということはありませんが、お客様も社員も『物心両面で幸せ』になり、みんなが笑顔になれる会社を目指すべく、現在の取り組みを貫いていこうと考えています。繰り返しになりますが、今あることをしっかりやっていき、根元の部分でしっかり基盤を固めたうえで、新しいことに取り組んでいけたらと考えています。

石材店という業種ですが、様々な挑戦をしていきたいと考えており、最近ではキャラクターの石像や石を使ったお子さん誕生記念の足型、霊園や仏にかかわる仕事も徐々に増えてきていますので、これらのことを含め幅広く展開していきたいと思っています。

